



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年8月8日

東・福

上場会社名 株式会社リード

上場取引所

コード番号 6982

URL <https://www.lead.co.jp>

代表者（役職名） 取締役社長

（氏名） 岩崎 元治

問合せ先責任者（役職名） 取締役総務部長

（氏名） 田口 英美

TEL 048-588-1121

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第1四半期	897	△6.5	△69	—	△41	—	△42	—
2025年3月期第1四半期	959	△19.4	△55	—	△20	—	△18	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△16.67	—
2025年3月期第1四半期	△7.26	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第1四半期	7,891	2,514	31.9
2025年3月期	7,882	2,600	33.0

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 2,514百万円 2025年3月期 2,600百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	10.00	10.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	1,550	△23.7	△230	—	△200	—	△220	—	△85.30
通期	4,800	14.7	10	—	40	—	30	—	11.63

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期1Q	2,632,960株	2025年3月期	2,632,960株
2026年3月期1Q	54,044株	2025年3月期	53,919株
2026年3月期1Q	2,578,916株	2025年3月期1Q	2,584,041株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善の下、緩やかな回復基調が続いたものの、資源価格の高止まりや、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクの高まり等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社の売上高に大きな影響を与える株式会社SUBARUの世界生産台数は、前年同月比4月が7.7%増、同5月が2.3%増、同6月が0.5%増と増産が続いております。

このような経済環境の中で当第1四半期累計期間の売上高は、自動車用部品部門において、既存の大口量産車1車種が、フルモデルチェンジによる2025年6月末の生産終了を控え、当第1四半期累計期間における生産量が、前年同期比減少したことを主因に、897百万円(前年同期比6.5%減)となりました。なお、これに見合う、2件の大口の新規受注車は、今秋以降の量産開始に向け、現在開発が進行中であります。

損益面につきましては、自動車用部品部門の受注が、前述の要因で減少したことに加え、上記2件の大口受注を踏まえた、3,500トンの大型樹脂成形機の導入準備(能力増強投資)や、生産量増加を見据えた、生産ライン確保の為に工場レイアウト再編等の先行投資の影響により、営業損失は69百万円(前年同期は営業損失55百万円)となりました。

営業外収益は受取配当金22百万円、受取賃貸料10百万円、スクラップ売却益8百万円等により42百万円、営業外費用は支払利息11百万円等により14百万円を計上し、経常損失は41百万円(前年同期は経常損失20百万円)となりました。また、特別損失は固定資産除却損1百万円を計上し、その結果、四半期純損失は42百万円(前年同期は四半期純損失18百万円)となりました。

セグメント別の業績については、次のとおりであります。

①自動車用部品

当セグメントの売上高は、既存の大口量産車1車種が、フルモデルチェンジによる2025年6月末の生産終了を控え、当第1四半期累計期間における生産量が、前年同期比減少したことから、831百万円(前年同期比8.6%減)となりました。

損益面につきましては、前述の要因で受注が減少したことや、今秋以降の2件の大口受注を踏まえた生産ライン確保の為に工場レイアウト再編等の先行投資の影響もあり、セグメント損失(経常損失)は、61百万円(前年同期はセグメント損失(経常損失)11百万円)となりました。

②自社製品

当セグメントの売上高は、駐輪部門における駅等の複数の大口案件の検収が寄与し、37百万円(前年同期比49.8%増)となりました。

損益面につきましては、セグメント損失(経常損失)は6百万円(前年同期はセグメント損失(経常損失)13百万円)となり、前年同期と比べて赤字幅は縮小いたしました。

③賃貸不動産

賃貸不動産のセグメント利益(経常利益)は、7百万円(前年同期比4.0%増)となりました。なお、収益及び費用は営業外に計上しています。

④その他

2025年6月で撤退した電子機器部門において、撤退を控えた駆け込み需要により、売上高は28百万円(前年同期比10.3%増)となりました。

損益面につきましては、セグメント利益(経常利益)19百万円(前年同期はセグメント損失(経常損失)2百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、前期末比8百万円増加し7,891百万円となりました。

・資産

流動資産は、現金及び預金が140百万円増加し、受取手形及び売掛金が154百万円、製品が11百万円減少したこと等から35百万円減少し2,534百万円となりました。

固定資産は、工具、器具及び備品が60百万円、建設仮勘定が61百万円増加し、建物が18百万円、機械及び装置が16百万円、リース資産が16百万円減少したこと等から有形固定資産は69百万円増加し4,326百万円となり、また、投資有価証券が22百万円減少したこと等から投資その他の資産は26百万円減少し1,027百万円となりました。その結果、固定資産全体では43百万円増加し5,356百万円となりました。

・負債

流動負債は、短期借入金が24百万円、その他のうち未払消費税等が24百万円及び設備関係支払手形が15百万円並びに預り金が10百万円増加し、支払手形及び買掛金が50百万円、未払金が15百万円、賞与引当金が22百万円減少したこと等から16百万円減少し2,500百万円となりました。

固定負債は、長期借入金が136百万円増加し、その他のうちリース債務が18百万円減少したこと等から109百万円増加し2,876百万円となりました。その結果、負債全体では93百万円増加し5,376百万円となりました。

・純資産

純資産は、配当金の支払が25百万円、第1四半期純損失が42百万円となり利益剰余金が68百万円減少し、また、その他有価証券評価差額金が16百万円減少したこと等から85百万円減少し2,514百万円となりました。これにより自己資本比率は31.9%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,435,501	1,576,061
受取手形及び売掛金	559,964	405,328
電子記録債権	225,754	227,784
製品	38,646	26,847
仕掛品	22,766	19,306
原材料及び貯蔵品	181,936	183,092
その他	104,881	95,937
貸倒引当金	△60	△50
流動資産合計	2,569,390	2,534,309
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,231,596	1,212,916
構築物（純額）	29,841	29,220
機械及び装置（純額）	430,074	413,707
車両運搬具（純額）	6,809	6,271
工具、器具及び備品（純額）	437,525	498,339
土地	1,657,869	1,657,869
リース資産（純額）	209,776	193,463
建設仮勘定	253,605	314,785
有形固定資産合計	4,257,098	4,326,573
無形固定資産		
ソフトウェア	2,761	2,586
無形固定資産合計	2,761	2,586
投資その他の資産		
投資有価証券	936,557	913,679
その他	119,841	115,962
貸倒引当金	△2,740	△2,050
投資その他の資産合計	1,053,658	1,027,592
固定資産合計	5,313,518	5,356,752
資産合計	7,882,908	7,891,062

(単位:千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	292,161	241,968
短期借入金	1,625,382	1,649,823
未払金	400,707	385,097
未払法人税等	6,196	1,845
賞与引当金	30,000	8,000
その他	162,235	213,719
流動負債合計	2,516,683	2,500,454
固定負債		
長期借入金	1,825,651	1,961,941
退職給付引当金	95,119	95,797
資産除去債務	50,905	50,905
その他	794,518	767,468
固定負債合計	2,766,194	2,876,113
負債合計	5,282,878	5,376,567
純資産の部		
株主資本		
資本金	658,240	658,240
資本剰余金	216,248	216,248
利益剰余金	422,229	353,455
自己株式	△29,992	△29,992
株主資本合計	1,266,725	1,197,952
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	372,328	355,566
土地再評価差額金	960,976	960,976
評価・換算差額等合計	1,333,304	1,316,542
純資産合計	2,600,030	2,514,494
負債純資産合計	7,882,908	7,891,062

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	959,831	897,065
売上原価	865,394	821,777
売上総利益	94,436	75,287
販売費及び一般管理費	150,136	144,496
営業損失(△)	△55,699	△69,209
営業外収益		
受取利息	80	357
受取配当金	18,023	22,520
受取賃貸料	9,886	10,086
受取補償金	11,684	—
スクラップ売却益	11,033	8,713
その他	449	716
営業外収益合計	51,158	42,394
営業外費用		
支払利息	9,100	11,872
賃貸費用	2,792	2,780
支払補償金	3,723	—
その他	460	100
営業外費用合計	16,076	14,753
経常損失(△)	△20,617	△41,567
特別利益		
固定資産売却益	—	73
受取保険金	2,768	—
特別利益合計	2,768	73
特別損失		
固定資産除却損	709	1,286
投資有価証券売却損	—	4
特別損失合計	709	1,290
税引前四半期純損失(△)	△18,558	△42,785
法人税、住民税及び事業税	188	205
法人税等調整額	3	△6
法人税等合計	191	198
四半期純損失(△)	△18,750	△42,983

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	81,077千円	80,574千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 3	合計
	自動車用部品	自社製品	賃貸不動産	合計		
売上高						
一時点で移転される財	863,926	21,371	—	885,298	25,491	910,789
一定の期間にわたり移転される財	45,149	3,892	—	49,041	—	49,041
顧客との契約から生じる収益	909,076	25,263	—	934,340	25,491	959,831
セグメント利益又は損失(△)	△11,464	△13,259	6,963	△17,760	△2,857	△20,617

- (注) 1. 「賃貸不動産」については、収益及び費用とも営業外で処理しております。
2. 「セグメント利益又は損失(△)」の合計額は、四半期損益計算書の経常損失と一致しております。
3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電子機器事業であります。

II 当第1四半期累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 3	合計
	自動車用部品	自社製品	賃貸不動産	合計		
売上高						
一時点で移転される財	797,961	31,246	—	829,207	28,111	857,319
一定の期間にわたり移転される財	33,156	6,589	—	39,745	—	39,745
顧客との契約から生じる収益	831,117	37,835	—	868,953	28,111	897,065
セグメント利益又は損失(△)	△61,596	△6,354	7,239	△60,712	19,144	△41,567

- (注) 1. 「賃貸不動産」については、収益及び費用とも営業外で処理しております。
2. 「セグメント利益又は損失(△)」の合計額は、四半期損益計算書の経常損失と一致しております。
3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電子機器事業であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期会計期間より、電子機器事業について、従来「自社製品」に含めていましたが、事業撤退したため、「その他」として記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期累計期間のセグメント情報は、当第1四半期累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。